

平成 19 年度 第 3 回 海洋開発委員会 議事録 (案)

日時：平成 20 年 5 月 23 日 (金) 15:00～16:30

場所：土木学会 AB 会議室

出席者：山本顧問，高橋委員長，関本幹事長，池川（秋山委員の代理），阿野（梅山委員の代理），遠藤，黒坂，小島，小林，諏訪，辻，永井，中原，中村，西，堀田，三上，宮川の各委員，五明，柵頼，東江，古川，水谷の各委員兼幹事，伊藤，加藤，鈴木，武田，森屋の各幹事

欠席者：佐伯，酒匂，高山の各顧問，新井，諫山，宇多，大久保，川上，清宮，小峰，清水，泊，前野の各委員，木村，佐々木，多田，矢内の各委員兼幹事，田島幹事

配布資料

- 07-3-0 土木学会海洋開発委員会 平成 19 年度 第 3 回委員会 次第
- 07-3-1 平成 19 年度 第 2 回海洋開発委員会 議事録 (案)
- 07-3-2 第 33 回海洋開発シンポジウム 採択結果について
- 07-3-3 第 33 回海洋開発シンポジウム関連行事 海の移動教室
- 07-3-4 海洋開発シンポジウム 関連行事 見学会 (案)
- 07-3-5 海洋基本計画に関する意見と対応
- 07-3-6 沿岸防災施設のアセットマネジメント研究小委員会 活動報告
- 07-3-7 第 20 回海洋工学シンポジウム実施報告
- 07-3-8 第 34 回海洋開発シンポジウム 開催候補地について

討議内容

1. 委員長選挙

新委員として，国土技術政策総合研究所の諏訪氏の紹介があった。

出席委員 22 名，委任状 13 名，計 35 名となり，委員の過半数を超える人数となる。投票の結果，高橋委員 22 票となり，高橋委員長が再選された。続いて，高橋委員長より，幹事長として関本委員が指名され，関本幹事長も再任された。

高橋委員長より，‘委員長として，シンポジウムを発展させ，また，海洋開発の分野を元気にする。ということに取り組んできた。シンポジウムは進展してきているが，海洋開発分野を元気にさせるほうは必ずしも十分でない。今後も海洋開発分野を元気にさせるように，アクティビティーを広げるとともに，レベルも上げていきたい。’との挨拶があった。

関本幹事長より‘活動が活発になり，委員会活動が皆さんの役に立つように，微力ながらがんばっていききたい’との挨拶があった。

2. 論文 WG より報告

資料 2 により説明があり，次回の第 33 回シンポジウムには 249 編の応募があり，224 編の採択となった．

手違いにより 3 次査読の締め切り前に不採択の連絡が著者にいってしまい，WG よりお詫びの連絡を取った．今後このようなことがないよう，以後，注意していきたい．

3. 海の移動教室，見学会についての説明

資料 3 および資料 4 により，第 33 回シンポジウムにおける海の移動教室と見学会についての説明があった．

4. 海洋基本計画に関する意見と対応

海洋基本計画案に対しては，多くの学協会から意見が出されたが，土木学会としても多くの方の協力の下で，海洋開発委員会と海岸工学委員会で連携して意見を出した．

土木学会からの海洋教育に関する意見については，海洋基本計画を修正するという対応をしていただいた．

5. 沿岸防災施設のアセットマネジメント研究小委員会 活動報告

資料 6 により，小委員会の活動報告があった．外部資金の獲得について，現在，科研費を申請中であり，採択されれば小委員会の活動資金となる．

6. 第 20 回海洋工学シンポジウム実施報告

資料 7 により，実施報告があった．

オーガナイズドセッションを担当された古川委員（順応的管理の OS）および水谷委員（津波防災の OS）より，担当された OS について，他分野との連携は今後の活動の参考になったとの報告があった．

海洋工学シンポジウムの基調講演とパネルディスカッションに関連し，海洋基本計画関連の以下の議論があった．

- ・3 月に海洋基本計画が発表され，具体的なプロジェクトの議論になってきている．これまで海洋開発委員会として，プロジェクトのきっかけ作りは行ってきたが，プロジェクトの実現化に向けた次のステップまで対応していく必要がある．

- ・任意団体である海洋技術フォーラムで，海洋基本計画関連で具体性のあるプロジェクトに関する議論をしており，海洋基本計画フォローアップ会議に意見を出している．海洋開発委員会から海洋技術フォーラムに参加してはどうか？

- ・海洋基本計画は総花的で，国としてのイニシアチブが見えない．そこをブレイクスルーするように，社会にインパクトのあるよい技術を生み出していくのが，海洋開発委員会の役割である．

- ・海洋基本計画には今後に対応していくので、意見等があれば幹事長まで連絡してほしい。
- ・5月20日に海洋基本計画フォローアップ会議が行われた。多くの意見が出されたが、その中で海洋開発研究機構の寺島氏より重点課題に関するメモが提出された。次回のフォローアップ会議は7月上旬に予定されているが、7月上旬では省内の予算要求の議論が終わってしまっているため、6月上～中旬に世話人のコアグループの会議を開いて、関係省庁に働きかけを行うことになっている。

- ・寺島氏による重点開発課題

- (1) 基本計画で行うと明示されているもの。

- ① 平成20年度中に資源・エネルギー関係の計画を策定する（エネ庁）。
 - ② 離島の保全（国交省）
 - ③ 政策課題対応型（複数省庁横断型）について平成21年以降どうするか

- (2) 行うと明示されていないが重要なもの

- ① EEZの総合的管理
 - ② 沿岸域の総合的管理
 - ③ 科学技術・海洋教育
 - ④ 産業の振興
 - ⑤ 海洋外交

これらの課題について、各省庁はどのように対応するのか？

7. その他

次回の委員会は、7月1日の昼、倉敷の第33回海洋開発シンポジウム会場にて行う。

山本顧問より、‘顧問の任期は今期で満了となる。海洋開発委員会に長く参加してきたが、活動は活発になってきており、分野横断的な委員会として、技術的なブレークスルーができるような活動を行ってってもらいたい。’という挨拶があった。